2019 年度版

横浜自然観察の森体験学習用

ご利用の手引き

○施設概要・・・・・・・・・・・・・・1
Oご利用までの流れ・・・・・・・・・・2
Oレクチャー対応について・・・・・・・・3
〇提供資料一覧・・・・・・・・・・・・・4
〇森の活用方法・・・・・・・・・・・・5
〇ご提出資料①『 <u>体験学習利用計画書</u> 』
\Rightarrow 必ず $ 2$ 週間前までにご提出ください。
Oご提出資料②『体験学習利用アンケート』 ⇒実施後にご提出ください

自然観察センター

TEL: 045-894-7474 FAX: 045-894-8892

開館時間 9:00~16:30

* 自然観察センター休館日: 月曜日(月曜祝日の場合は翌日)、年末年始

「横浜自然観察の森」はこんなところ

神奈川県横浜市南部にある円海山周辺の緑地(約700ha)。ここは市内最大の緑地です。 この南のはしに横浜自然観察の森(約45.3ha 横浜スタジアム約17個分)があります。

□施設概要 ※休館日でも野外は使用できます。

・自然観察センター開館時間

9:00~16:30 休館日:月曜(月曜が祝日の場合は、翌日休館) 年末年始

・観察路を活用しよう

自然観察の森には遊具はなく、飼育されている動物はいません。自然の野山の中には、自然観察センターや、観察小屋があり、自然観察センターを起点・終点にした4本の観察路を歩けば、森の生きものたちとの出会いが待っています。また各ポイントにはその場の生きものや環境について書かれた野外解説板が設置されています。





自然観察専門員(レンジャー)

自然観察センターには、自然や生きものの専門知識をもった公益財団法人日本野 鳥の会のレンジャーがいます。レンジャーは、園内の自然についての質問に答え、解説を行い、来園者の安全を守り、誰でも安心して観察ができるよう整備を行っています。生きものを守るための調査や管理も行っています。

·<u>展示</u>

常設展示として自然観察センター内には常に更新される最新の自然情報が写真付きで掲示されています。また諸感覚を使って生きものの親しみ方を知る工夫がされています。また年2回企画展も行われており、出発前や雨天時にご活用いただくことが可能です。



- 研修室 自然観察センター内にあり、約 100 人(着席時)が利用可能です。
 - ご利用は事前予約が必要です。
- <u>救護室</u> 自然観察センター内にベッドが1台あり、具合が悪い場合お休みいただく ことができます。



口園内利用の際の注意

・フィールドマナーを守ってご利用いただくようにお願いしております。児童の皆さんへも事前、当日の周知をお願いいたします。

火・コンロは使わない 生きものを持ち帰らない持ち込まない ボール遊びはしない

道からはずれない静かさを乱さない「ゴミはうちまで

- ・拡声器のご使用はお控えください。
- ・双眼鏡などの観察道具や工作道具などの貸し出しは行っておりません。
- 体験学習当日はレンジャーカウンターにおける児童の方への資料配布は行っておりません。

ご利用までの流れ

① 現地の実地踏査

□実地踏査の日時を必ず事前にお電話(TEL: 045-894-7474) ください。

カウンターにて、園内の利用方法や野外活動における安全管理についてご説明し、プログラム作りや研修室 の利用などの**ご相談**もお受けします。

当日のレクチャー対応についてもご相談いただけます。

- □利用するコースは、安全管理のために事前に必ず歩いてご確認ください。
- □「提供資料一覧」から、お選びいただいたものをお渡しすることができます



② 体験学習利用計画書を提出

- □「体験学習利用計画書」に必要事項を記入し、自然観察センターまで FAX (045-894-8892) にてご 提出ください。ご利用が休館日の場合でも必ずご提出ください。
- □提出期限は、体験学習当日の **2 週間前**までです。園内を利用する他校、他団体との混乱を避けるためにも、利用の有無に関わらず必ずご提出ください。ご協力のほどよろしくおねがいします。 *レクチャーご希望の場合、実施可能かどうか等のご連絡をいたします。



③ 体験学習当日

- □自然観察センターにお立ち寄りいただき、**団体受付簿に人数等をご記入**ください。
- □提出いただいた予約カードと内容に変更がある場合は、お知らせください。
- □カウンターにて当日の園内の危険個所等の情報をご説明します。
- □横浜自然観察の森から貸出した**資料をご返却**ください。(後日、郵送して頂いても結構です。)



④ アンケートのへの回答

- □「体験学習アンケート」へのご回答にご協力ください。
- → **(FAX: 045-894-8892)** へお送りください。ご協力のほどよろしくおねがいいたします。

レクチャー対応

2 週間前までにお申し込みいただければ、レンジャーにより 20 分までのレクチャーを行います。お話の内容に関しては、事前にご相談ください。

タイトル	内容	時間
1 - +	諸感覚(目、耳、鼻、手)を使った生き物観察の方法について	
(1)諸感覚を使った観察方法について		10 分
9#*5041 *L#**	横浜市の緑の変化、観察の森の大きさやそこに暮らす代表的な生き	5分~
(2)横浜の緑と森に暮らす生きもの	物(大型鳥類・哺乳類等)について	10分
(2) = M(0.7) 1 = 7	季節ごとに観察できる生きもの(鳥・昆虫・植物等)について	5分~
3季節のみどころ		10分
A >++74+44	注意が必要な生き物の説明	5分
(4)注意する生き物	(ヘビやハチに出会った時の対処方法。ヌルデの見分け方等)	
	観察の森に生息する外来種(タイワンリス、アライグマ等)がどういう	10分
(5)外来種について	生きもので、森にどんな影響を与えているかについて	
©41# = 1 5 - 7 .		各
(6)紙芝居レクチャー		20 分
「ぼくはゲンジホタル」	ゲンジ(ヘイケ)ボタルの生態や観察マナーについて	
「ぼくはヘイケボタル」		
「カワセミキングくん」	カワセミの巣作り、子育てについて	
「ドングリころきちくん」	ドングリがどのように分散・成長していくのかについて	
「なつ!セミものがたり」	セミの一生について	
「アゲハのあげぞう」	アゲハチョウの一生について	

※ レンジャーの対応を希望される場合は、提出資料「体験学習利用計画書」の

「レクチャーのご希望」の欄にご記入ください。

ただし、来訪者の多い日曜・祝日、他の観察会がある場合などは、ご対応できないことがあります。 あらかじめご了承ください。

※ 研修室利用(約 100 名まで利用可能)の場合も **2 週間前まで**のお申し出が必要です。



提供資料一覧

資料名称	提供可能な数量	内 容		
1. ガイドマップ	<u>児童数分</u>	カラー版地図		
2. 自然かんさつマップ ①コースごとのかんさつマップ ②雨の日版	各校、各種1部まで ※ 児童分必要な場 合は学校でコピーし てご使用ください。	各コース(ミズキの道、コナラの道、ウグイスの道、タンポポの道)に対応した観察マップ。観察方法や設問等が書いてありセルフガイドにも使えます。		
3. ①けものとらのまき ②外来種たち	各校、各種1部	観察の森に生息する哺乳類についてまと めたもの。ウォークラリーの問題づくりにも 役立ちます。		
4. 樹木ウォッチングマップ	各校1部	ミズキの道 50 種類の樹木リスト		
5. 鳥・かんさつマップ	各校、各種1部	季節ごとに観察できる野鳥のリスト		
6. ホタル観察の手引き	各校1部	ホタルの夜間観察のための手引き (5月下旬~7月上旬)		
7. オリジナル紙芝居	貸出(当日のみ)	ホタルの生態がわかる紙芝居「ぼくはゲン ジボタル」「ぼくはヘイケボタル」		
8. 野外解説板一覧	各校 1 部	園内にある野外解説板の一覧と位置図		
9. オリジナル DVD 「横浜自然観察の森へいこう!(約25分)」	貸出	森の概要や観察方法に関する映像		

観察の森ガイドブック

横浜自然観察の森の HP から PDF ファイルが ダウンロードできます。







生き物の解説や、観察を促すワークシートが掲載されています。コ ラムなども記載されており、体験学習当日だけでなく事前、事後学 習にもお使いいただけます。

体験学習における横浜の森の活用方法

1. 園内ポイントラリー

園内に設置された野外解説板*や自然かんさつマップ*、学校独自のクイズなどを使って、歩 きながら楽しく自然と親しみます。時間に合わせたコースを選択できます。(※提供資料あり)

1時間~2時間

コナラの道: 1時間 (約1.7km) ミズキの道:1時間半(約1.6km)

30 分~1 時間

タンポポの道: 45 分(約0.8km) ウグイスの道:30分(約0.7km)

オプション

眺望があり、横浜に残された緑を 臨むこともできます。

出発前にレンジャーが季節の生き物や注 意事項などを写真を交えて解説します。







2. つながりの森ハイキング

港南台駅から横浜自然観察の森へとつながるトレイルコースを歩くことができます。円海 山緑地の広さを実感でき、尾根道を歩きながらみられる景色から野生生物にとって市内に 残された貴重な緑地であることが体感できます。

午前: 港南台駅 ⇒ ビートルズトレイルコース ⇒ 自然観察センター(3時間)

午後: 園内のポイントラリーなど(30分~2時間)





3. 生きものガイドを使ったプログラム

観察の森オリジナルのワークシートを使い観察することで、生きものを調べ、記録をし、その結果を通じて考える過程を体験することができます。

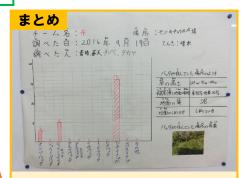
プログラム例: バッタ調査隊になろう



レンジャーが狙いに合わせた2 〇分程度のレクチャーを行い、対 象物への関心を高めます。



バッタを実際に採集し、どの種類が何匹いたかを環境ごとに記録します。ガイドブックを見ることで誰でも識別ができます。



記録したバッタの数をグラフに まとめ、種類による数の違いや採 集した場所についての関係など を考えます。

4. レンジャーと森を歩こう 2019 年度の募集は終了しました。

レンジャーと共に学校での事前学習、体験学習当日の活動を行ないます。観察、記録、 考察のプロセスを通して、生き物や自然への理解を深めます。



横浜の自然に関するレクチャーや生き物 観察に必要な視点を伝え、校庭での実践を 通して自然への関心を高めます



水辺で観察 した生き物



レンジャー(自然観察専門員)とともにプログラム を実践して観察、記録、考察のプロセスを経て森に ついての理解を深めます

利用後アンケート

今後の体験学習対応や森の保全管理計画の参考にさせていただくために、アンケートにお答えください。 ご協力お願いいたします。

①学校名			小	学校	
②利用日	月		日~	月	日
 ③利用人数		Д	学級数	ઇ ⊤	細

①当日にレンジャーの対応は受けましたか?該当する選択肢に〇をつけてください。 はい

いいえ

·「はい」に○をした方にお尋ねします。レンジャーの対応内容はいかがでしたか。



その理由や対応内容に関してご要望がございましたらご記入ください。

②にぎわいの森生きものガイド(ガイドブック)を利用しましたか?該当する選択肢に〇をつけてください。 はい いいえ

・はい、と答えた方にお尋ねします。どの場面で活用されましたか?

事前学習 体験学習当日 事後学習

該当する選択肢に○をつけてください。(複数選択可)

・どのテーマを活用されましたか?該当する選択肢に○をつけてください。(複数選択可)

観察の森はこんなところ	ジョロウグモを見つけよう
森にくらすカエル	たねの作戦
源流を探検しよう	生きものカレンダー
鳥のいろいろウオッチング	コラム 生きもののにぎわい
バッタを調べよう	コラム 森の自然をおびやかす生きものたち

・ガイドやワークシートの内容はいかがでしたか?該当する選択肢に○をつけてください。



その理由等ございましたらご記入ください。

③そのほか、横浜自然観察の森での体験学習利用に関してのご要望をご記入ください。

横浜自然観察の森 FAX:045-894-8892

ſ		\neg
- 1		
- 1		
- 1		
l		

受付日	月	日	受付者
-----	---	---	-----

2019年度 体験	学習 利用語	計画書	事前 対応職員	下見 済·未 ()
【学校名】		小学校 (担当	 者:)
【連絡先】				
TEL		FAX		
【利用日】			【雨天時】	
月 日() 月 日()	:	~	決	行・ 中止
【人数】 大人	名 子ども	名	合計	名
【レクチャーのご希望】	担	当()
有 • 無	対応 対応	時間 : 場所 (~	:
【レクチャー内容】別紙の団体			·Oで囲ってくださ	L
① · ② · ③ · 【備考】	4 · 5 · 6	(その他:)
【研修室利用】				
雨天時(有・無	無)[: : ~	- :]	
雨天時以外 (有・氣	無)[: : ~	- :]	
【当日の予定】				
昼食場所()		
日付・時間	場所			内容
1日目	利用コープ (ミズキ・コナラ・タンポ		設置物などにつ	ついてもご記入ください
2日目	利用コープ (ミズキ・コナラ・タンポ	₹ ポ・ウグイス)		

施設 記入欄 連絡事項